

【準備物】

- (1)楽土
- (2)水（水道水か飲料水） ※有機物不純物や酸性物質を含む水はセメントの水和を阻害するため適しません
- (3)散水用のジョウロ
- (4)鍬
- (5)スコップ、レーキ
- (6)定木
- (7)ブラシ
- (8)ほうき

※その他は工法と工事規模に応じた工具、機械を用意します

【前工程】

- 下地処理 -

楽土の出来上がりや耐久性は前工程の良否で決まりますので、丁寧・確実に行ってください。

1. 施工する場所を除草し、掃除をします。
2. 施工厚さ分の土をすき取ります。
※残土はお住まいの法令に従って処分してください
3. 施工する場所が軟弱な地盤の場合は、
バラスを敷き込んで十分に填圧します。
4. 水勾配、排水を考慮した上で平滑に均します。
5. 意匠等で施工箇所に石を配置する場合は設置します。



①下地処理



【施工】

- 楽土敷き均し -

1. 楽土を施工場所に所定の厚さで敷き均します。
2. スコップ、レーキなどを使って粗均しをします。
3. 定木（まっすぐな板で可）や木鋺などを使って締め固めながら平滑にします。



楽土敷き均し

② 施工

- 散水 -

楽土は水と反応して硬化します。

必ず規定量の水を散水してください。

1. 規定量の清浄な水を準備します。
2. 準備した水をジョウロで均等に散水します。

※散水は一度で行っても良いのですが、均一性を欠き易いので、二度に分けて行うことをお奨めします。二度目の散水は一度目に散水した水が浸透し、歩行出来る状態になって行ってください。

（夏季＝1～2時間後、冬季＝2～4時間後）

※施工後の1週間程度は毎日1回以上散水してください。



散水



養生

③ 養生

【養生・注意事項】

施工の翌日まで立ち入りを禁止し、急激な乾燥や凍結をさけて養生します。

翌日には歩行できます。

＜注意事項＞

1. 施工後は下地の地盤に水が浸透し緩んでいます。一ヶ所に重量をかけないでください。
2. 施工後、当分の間は施工した表面に砂粒が浮き出ます。掃除しながらお使いください。
3. 施工後3ヶ月間は硬くなり続けます。凸凹の修正などは早めに行ってください。
4. 湿気の多い場所に施工された場合、結合材の白華（白くなる）や苔の発生があります。
5. 日向や風の通る場所に施工された場合、結合材が充分硬化せず、表面に粉を吹き易くなりますので、施工後の一週間程度は毎日1回以上散水養生をしてください。